



東京経済大学・三育大学校学術交流協定締結記念 学術フォーラム

日本と韓国における国際開発・ 経済発展・社会保障の現状と展望

東京経済大学と韓国三育大学校（ソウル）は、インフォーマルな形であるが過去数年にわたり継続的に交流を深めてきた。

この度、これまでの両大学の友好的な関係を礎にして、学術・教育・文化レベルでの交流を一層深めることを目的に学術交流協定を締結し、締結記念の学術フォーラムを企画した。日本と韓国に共通する社会的な課題は決して少なくない。本フォーラムでは、国際開発、経済発展、社会保障という3つの柱を措定し、両大学の教員がそれぞれの研究テーマについて最先端の研究報告を交互に行う。そして最後に、参加者の皆様と研究報告者の間で全体ディスカッションを行う。

3つの柱の社会的背景について述べると、まず、国際開発については、日本および韓国が東西冷戦以後のグローバリゼーションの中で果たすべき役割と使命に関して、報告の中で明らかにされる。次に、経済発展については、日本も韓国も長期にわたる経済的不況を経験する中で、ソーシャルビジネスおよびイノベーションの重要性がますます高まりつつあることが実証的な研究報告の中で確認される。3つ目の社会保障に関しては、両国とも、家族関係・家族意識が変容する中、高齢化の進行に伴う介護問題の解決が喫緊の課題となっており、これらの課題について介護政策レベルから、さらに福祉国家化というマクロレベルから研究報告がなされる。

両大学による合計8本の研究報告は、以上の柱にいずれかに関連付けながら行われる。本学術フォーラムでの共同討議をてこに、両大学間での研究交流や共同研究が誕生することを切に期待したい。

なお、使用言語は日本語である。一報告のみ英語であるが通訳付きである。

学術フォーラム実行委員長 西下彰俊

【開催日時】2013年9月17日（火） 13:00 - 18:00 （12:30 受付開始）

【開催場所】東京経済大学 国分寺キャンパス 5号館 102教室

【報告者（発表順）】

東京経済大学：奥山正司（現代法学部）、橋谷弘（経済学部）、金成垣（経済学部）、
小木紀親（経営学部）、西下彰俊（現代法学部）

三育大学校：金相來（総長）、趙美淑（社会福祉学科）、朴哲住（経営学科）、
鄭鐘和（社会福祉学科）

参加費：無料 事前申し込みは、9月16日（月）17:00まで。 nisisita@tku.ac.jp へ。

主催：東京経済大学学術研究センター

